

災害時、店舗に一時避難

可児市とバローが協定

可児市とバロー(多治見市)は、大規模災害発生時に住民の一時的な避難場所として店舗の一部を利用する「災害時における支援協

力に関する協定」を締結した。

災害が可児市で発生した場合、市からの要請を受けてスーパーの広見店と下恵



協定書を手にする篠花明常務(右)と富田成輝市長
＝可児市役所

土店の売り場の一部を利用できるようにする。
市役所で行われた締結式で、バローホールディングスの篠花明常務は「地域へ

の貢献に努めていく」と話し、富田成輝市長は「心強い協力をしてもらえることを市民に伝えたい」と述べた。
(岡部導智賢)